

授業科目名 ( 英文名 )	養護実習	科目区分 対象学生	
単位数	5.00	開講年次・ 学期	4回生・集中
担当教員	池田 雅則 古川 恵美 本田 順子	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>教職科目「養護実習」の目的は、学校や児童生徒の理解に基づきながら、学校保健に関わる活動の実際を体験することを通して、児童生徒の健康課題の解決に関わる養護教諭の役割について学ぶことである。到達目標は、養護教諭の立場から児童生徒のことを理解できるようになること、学校組織における養護教諭の役割を認識できるようになることである。</p>		
講義内容・授業計画	<p>内容 事前指導・臨地実習・事後指導を通して、養護教諭がもつべき教育的知見の形成を目指す。</p> <p>授業計画</p> <p>【事前指導】（実習の準備：実習前年度及び本年度前期）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 回生時の 4 回生実習報告会への参加：実習前年度（1 日）</li> <li>学習指導案作成、ICTを活用した模擬指導と掲示物作成（4～5 月に 2 日分）</li> <li>実習オリエンテーション及び養護教諭の講話：本年度（1 日：レポート提出）</li> <li>児童相談所における講話と見学：本年度（半日：レポート提出）</li> <li>個別面接（適宜）</li> </ol> <p>【臨地実習】（各実習校における実習：9～10 月の 3 週間） 実習期間には、以下のような内容について理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の組織</li> <li>・学校における教育職員である養護教諭の機能</li> <li>・保健室における養護教諭の役割</li> <li>・学級の組織</li> <li>・学校における児童生徒の生活と健康</li> <li>・保健指導案作成</li> </ul> <p>【事後指導】（実習のまとめ：本年度後期）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習報告会（半日：3 回生の実習予定者も参加）</li> <li>2 個別面接（適宜）</li> </ol>		
テキスト	なし		
参考文献	<p>大谷ら『養護教諭のためのフィジカルアセスメント』日本小児医事出版社、2017。 大谷ら『養護教諭のためのフィジカルアセスメント 2』日本小児医事出版社、2014。 杉浦守邦『改訂 養護教諭のための診断学 内科編』東山書房、2012。 杉浦守邦『養護教諭のための診断学 外科編』東山書房、2010。 （文献はいずれも学生に貸し出される）</p>		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 養護教諭の立場から児童生徒のことを理解できている、学校組織における養護教諭の役割を認識できている者に単位を授与する。</p> <p>成績評価の方法 事前・事後指導にかかわる各種レポート、及び実習校における出勤状況・実習ノート・実習校による成績評価表に基づいて総合的に判断する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前・事後指導の日時や場所の詳細の告知は履修ガイダンスや掲示板等を通して行う。</li> <li>・養護実習に関わる日程（事前・事後指導、臨地実習）は、全出席を要する。</li> </ul>		
実践的教育	臨地実習を行うことから、実践的教育に該当する		

	担当教員のうち、古川は養護教諭としての実務経験を有する。
備考	これまでの教職課程の学習を実践的に捉え直すことを期待します。